

《事故情報》

液化炭酸ガスローリ横転事故

(一社) 大阪府高圧ガス安全協会
事務局

令和6年3月19日(火)午後、路面清掃をしていた低速走行中の作業車に液化炭酸ガスローリが追突、横転しました。この事故によるけが人はいなかったようですが、横転した液化炭酸ガスローリから炭酸ガスが漏れ、一部区間で通行止めになりました。

事故原因の詳細は不明ですが、本事故の状況から学べる教訓を職場で考えていただき、自主保安力の強化に役立てていただきたく、情報を配信させていただきます。

1. 事故概要

- (1) 発生日時：令和6年3月19日(火) 午後1時半頃
- (2) 発生場所：宮城県蔵王町の東北自動車道白石ICと村田ICの下り線
- (3) 物的被害 路面清掃作業車と液化炭酸ガスローリ
- (4) 人的被害 けが人なし
- (5) 事故原因 報道では「路面清掃をしていた低速走行中の作業車に液化炭酸ガスローリが追突」と記載。
推定原因としては液化炭酸ガスローリ運転手の前方不注意と考えられます。

2. 報道記事(添付します)

- (1) インターネット情報
「炭酸ガスローリ 事故」で検索すると出てきます。

以 上

東北道でタンクローリーが低速走行の作業車に追突し横転 一時積んでいた炭酸ガスが漏れる 白石ICと村田ICの間の下り線通行止め 宮城・蔵王



└ 東北道でタンクローリーが低速走行の作業車に追突し横転 一時積んでいた炭酸ガスが漏れる 白石ICと村田ICの間の下り線通行止め 宮城・蔵王町
© tbc東北放送

19日午後、宮城県蔵王町の東北自動車道下り線で、路面の清掃をしていた作業車にタンクローリーが追突し、一部区間が通行止めになっています。けがをした人はいないということです。

19日午後1時半頃、蔵王町を通る東北自動車道の白石ICと村田ICの間の下り線で、路面の清掃のために低速走行をしていた作業車に後ろから走ってきたタンクローリーが追突しました。この事故で、タンクローリーが横転し走行車線をふさぎました。タンクローリーを運転していた男性と作業車に乗っていた男性3人にけがはありませんでした。タンクローリーは、炭酸ガスを積んでいて一時、炭酸ガスが漏れ出しました。周辺への影響はないということです。

この事故の影響で、東北自動車道は、白石ICと村田ICの間の下り線で通行止めが続いています。現場は見通しの良い片側2車線の直線で、警察が事故の原因を調べています。

タンクローリー「炭酸ガス」噴出 横転事故で一時通行止めに 30分にわたり“白いガス”



■ タンクローリー「炭酸ガス」噴出 横転事故で一時通行止めに 30分にわたり“白いガス”
© FNNプライムオンライン

片側2車線の高速道路で、タンクローリーが横転。

車体からは、勢いよく真っ白なガスが噴き出している。

次第に勢いを増し、噴き出すガス。

その横には、運転手だろうか、作業着姿で見守る人の姿があった。

現場近くからタンクローリーを見ると、噴出口から激しい音を立て、ガスがすさまじい勢いで噴き出しているのがわかる。

事故は19日午後1時半ごろ、宮城県を走る東北自動車道の下り線、白石インターチェンジと蔵王パーキングエリアの間で起きた。

タンクローリーと車が衝突。

現場のすぐ横では、黄色い作業車が横転し、レッカー車で運ばれていた。

その車体には「液化炭酸ガス」と書かれているが、噴出による危険はないのだろうか。

日本産業・医療ガス協会担当者「（液化炭酸ガスとは？）半導体の製造工程で使ったりとか、飲料用の炭酸ジュースであったりとか、ビールとかに補填（ほてん）したりするような使い方もある。ガス自体に火がついたりというものではない」

噴き出している白い炭酸ガスは、固まるとドライアイスになるもので、爆発などの危険はないという。

しかし、横転によりボンベが破裂するおそれがあるため、ガスを逃がしているのではないかと話している。

現場では約30分後、ガスが出尽くしたのか、次第に勢いが弱まっていた。

この事故で、これまでにけがをした人は確認されていない。